

ごうつ

市議会だより

桜江小学校 5年 森下 珀虎

※学年は令和3年度のものです



2022.5
No.151

松江城前でハイポーズ！（桜江小学校6年生修学旅行より）

令和3年度 一般会計補正予算(第12号)

12月21日 専決処分

承認

給付金給付事業及びサテライトオフィス等整備事業に要する経費。

補正予算額 **6億3361万円**(補正後総額176億88万円)

子育て世帯臨時特別給付金給付

子ども1人あたり
10万円を給付。 **1億6500万円**

サテライトオフィス等整備推進

整備工事費。 **1000万円**

令和3年度 一般会計補正予算(第13号)

可決

各事業の実績及び決算見込み額などの調整と市債の繰上償還にかかる予算を計上。

補正予算額 **6億430万円**(補正後総額182億518万円)

長期債元金

市債の任意
繰上償還 **10億7559万円**

委員質疑

問

繰上償還による効果は。

答

将来的に利子分約4200万円の経費を節約。

令和4年第1回定例会

令和4年度 一般会計予算

可決

新型コロナウイルス感染症への対応を最優先としつつ、最重要課題の「人口減少対策」の推進に重点を置き編成。

予算額 **154億3600万円**(前年度比4億1900万円増額)

DX推進事業

2402万円

自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の重点取り組みである行政手続きのオンライン化などにかかる経費。

委員質疑

問

DXの推進にあたり職員の資質向上が求められるが対応は。

答

行財政改革の中で、ワーキンググループを作るなど、職員研修を進めている。

地域医療支援対策事業

2億4840万円

済生会江津総合病院など地域医療を支援するもので、運営費補助や医師・看護師確保対策費。

委員質疑

問

医療機器の予算計上がないがなぜか。

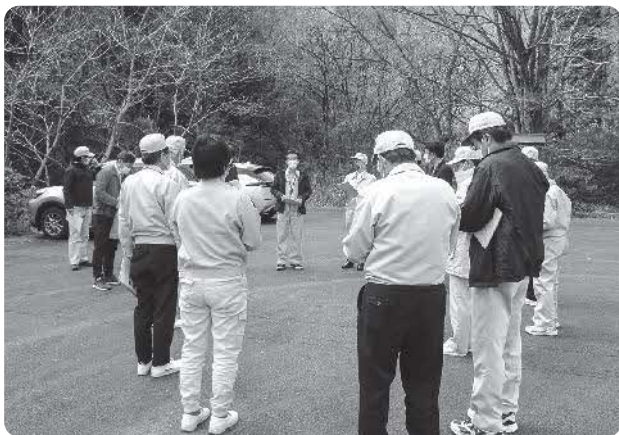
答

令和3年度に更新されており、令和4年度は更新の予定がないため。

農林水産振興総合事業

756万円

生産・加工・販売に至る一貫した流通システムの構築を図り、生産意欲の向上及び企業や地域住民が主体となって、地域資源を活用するネットワークを創出し、農業の振興、地域経済の拡大、地域の活性化に結び付ける。



苔ツアーのメイン観察地 観音滝（鹿賀）

都市防災総合推進

1億9830万円

川越地区における避難所兼地域交流施設の整備費。

委員質疑

問 昭和47年災害を想定したものでないと、浸水に対応できないのでは。

答 地元と協議の上、高さは平成30年7月災害をベースに対応し、集会所としての側面もあり、早期建設も必要。



集会所を兼ねた防災拠点建設現場（川越地区）

都市再生整備計画

2億3757万円

第2江津中央団地などの整備費。

委員質疑

問 家賃が上がると想定されるが、入居者は納得しているのか。

答 説明会において入居者は承知している。

消防活動充実強化

6002万円

内水対策用の排水ポンプなどの配備にかかる経費。

委員質疑

問 消防団への大型排水ポンプの設置場所は。

答 渡津と川越の2カ所を予定している。

小学校教育施設整備

1億3484万円

渡津小学校の外壁改修などを行う経費。

委員質疑

問 令和3年度工事予定だったが、なぜ令和4年度になったのか。

答 外壁工事の調査段階で他に修繕箇所が見つかり、併せて実施することとなったため。

農業用施設災害復旧

2億9930万円

令和3年に発生した、農道の災害復旧工事費。



災害発生現場（波子）

委員会



総務民生委員会

●消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例 (一部改正)

本市消防委員会に対し、消防団員の報酬など処遇改善について諮問をおこない、その答申結果に基づき、改正

質
疑

問 消防団員確保が目的としているが、この改正で団員が増えるのか。

答 消防団員の確保の目的で報酬の改定を行うが、今後現在の定数が適正かも含めて消防委員会に議論してもらう。

●江津市課設置条例(一部改正)

江の川治水対策推進に向けた体制づくりのため、建設部門の組織の見直しをおこない、併せて一部の課の事務について整理するもの

質
疑

問 業務量が多くなると思われるが、配置人数で対応できるのか。

答 状況に応じて変えていく。

●地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例制定

江津市及び浜田市両市のそれぞれが地域包括支援センターの設置者となる必要が生じたため、職員及び運営に関する基準を定める条例

質
疑

問 地域包括支援センター運営協議会とあるがどのような協議会なのか。

答 被保険者をはじめ医療福祉関係など15人以内の委員で構成。

建設経済委員会

●地方における鉄道施策(請願)

3月12日実施のJRダイヤ改正をうけ、今後の鉄道網の存続・維持するための施策を国や自治体に求めるもの

質
疑

問 JRのダイヤ改正で減便となるが、市に対して問い合わせや要望は。

答 なかった。

●国民健康保険条例(一部改正)

未就学児に係る被保険者均等割額を半減、基礎賦課額に係る賦課限度額を63万円から65万円に上げるなど低所得者の負担を軽減するもの

質
疑

問 均等割額が半額になると、市の負担額は。

答 50万円と見込んでいるが、2分の1は国、4分の1は県が負担する。

●地場産業振興センター条例(一部改正)

サテライトオフィスなどの整備に伴い、会議室などの箇所以外の占有について指定管理者が使用料を決め、収入とすることができるようにするもの

質
疑

問 指定管理者が使用料を定める効果は。

答 指定管理者に責任をもって運営してもらうため。

議決結果【第1回議会定例会】

議決結果			坂手 洋介	植田 好雄	森川 和英	鍛冶 恵巳子	多田 伸治	山根 兼三郎	森川 佳英	藤間 義明	森脇 悦朗	石橋 孝義	河野 正行	藤田 厚	田中 直文	永岡 静馬
議案番号	件名	議決結果														
執行部提案	同意第1号 監査委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第2号 功労者の選定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第3号 人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第1号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第1号 江津市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号 江津市課設置条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号 江津市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号 江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号 江津市集会施設及び研修施設設置条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号 江津市波子駅会館等の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号 江津市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号 江津市地場産業振興センター条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号 江津市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号 江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号 市道の路線の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号 令和4年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号 令和4年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号 令和4年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号 令和4年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号 令和4年度島根県江津市公共下水道事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号 令和4年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号 令和4年度島根県江津市水道事業会計予算を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号 令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第13号)を定めることについて	//	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号 令和3年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号 令和3年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号 令和3年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号 令和3年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号 令和3年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号 令和3年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第1号 地方における鉄道政策に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	決議第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号 江津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見第1号 介護職・保育士・放課後児童クラブ職員の処遇改善を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

本会議における賛成・反対意見

議案第5号 国民健康保険条例(一部改正)

可決

反対 森川 佳英

条例案では、国保料算定の均等割を未就学児について半分免除するとしている。負担軽減には評価すべき点もあるが、日本共産党江津市議団は子どもの均等割廃止を求めている。対応として不十分。また、被保険者への負担増となる賦課限度額の引き上げも盛り込まれている。国の言いなりではなく、国保会計の黒字を活かした負担軽減を求めて反対。

賛成 坂手 洋介

今回の条例改正の概要は、未就学児に係る保険料の被保険者の均等割額の減額措置及び基礎賦課額に係る賦課限度額の改正などである。子育て世帯の負担軽減、及び国民健康保険事業や後期高齢者医療事業の安定的な持続は本市における第6次江津市総合振興計画に盛り込まれている「健康で安心して暮らせるまちづくり」に資するもので必要な改正であり賛成。

議案第20号 令和3年度一般会計補正予算(第13号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案では、市債10億7559万円の早期返済が計上されている。むこう13年で4200万円の利子を浮かせる財政努力だが、現状ではコロナ禍への対策を優先すべき。コロナ禍で打撃を受けた市民・事業者から、市議会にも助けを求める陳情が寄せられており、支援は行き渡っていない。予定外の返済ができるのであれば、市民の救済を優先すべきであり、予算案には反対。

賛成 坂手 洋介

今回の補正予算は主に各事業の実績及び決算見込み額などで調整を行うとともに、将来の公債費負担の軽減を図るため、市債の繰上償還にかかる予算を計上している。繰上償還によって令和3年度の実質公債費率は12%台前半になる見込み。その他、コロナウイルス感染症対策に関するものなど必要な予算の計上となっており賛成。

議案第13号 令和4年度一般会計予算

可決

反対 森川 佳英

当初予算案では、最優先とされたはずのコロナ対策の計上は、全体のわずか0.2%で、日本共産党江津市議団で求めたPCR検査など、災害避難所の感染対策も不十分。済生会への補助も従来通りでコロナ対策は含まれず、中小企業支援はなくなっている。最重要課題の人口減少対策も新規事業がなく、子どもの医療費助成も十分な拡充がされていないため反対。

反対 多田 伸治

生活交通では充実がない。民生委員の過重負担軽減がない。経済的負担軽減を図るべきなのに放課後児童クラブの料金は値上げ。有福温泉活性化はまちづくりの全体像が不明瞭。冠水対策の市道かさ上げがない。街路灯の新設がない。桜江町川越の地域交流施設建設では、避難所でもあるのかかさ上げが足りず、想定される危険を排除できない。住宅耐震化を進める施策がない。図書館整備への取り組みがない。このような予算案には反対。

賛成 石橋 孝義

市長選挙を控えた骨格予算である。新型コロナウイルス感染症への対応を最優先しつつ、最重要課題の「人口減少対策の推進」に重点を置いた編成になっている。特に、「自治体DX推進事業について」スマート自治体実現のため、オンライン化対応の整備などが予定されており、その他の事業についても、必要な予算である。また、市債発行額が元金償還額を上回らないよう市債残高の抑制に努めている。その結果、実質公債費率が11.2%の見込みとなり本予算案に賛成。

議案第14号 令和4年度国民健康保険事業予算

可決

反対 森川 佳英

国保料は世帯数・被保険者数の減少にも関わらず増加しており、賦課限度額の引き上げの影響が出ている。一方、保険給付費も増加しており、コロナ禍の影響での重症化が心配され、病気の早期発見・早期治療の取り組みが必要となっている。しかし、病気予防のための特定健診では、受診率の目標を下げしており、予防の取り組みが不十分。経済的負担増と重症化予防に不安があるため反対。

賛成 鍛冶 恵巳子

国民健康保険歳入歳出予算は、令和3年度の見込みなどから計上し、その収支について基金を崩すことなく計上。県からの交付金、特別交付税は主に令和3年度で事務処理システム更新費への補助がなくなること減少し、収支調整項目である保険料が増えている。歳出は事務処理システムの更新費や県への納付金が減額となることから、総額で7200万円の減。適正に行われており賛成。

議案第16号 | 令和4年度後期高齢者医療事業予算

反対 森川 佳英

被保険者数が令和3年度よりも減少しているのに保険料が増えている要因は、後期高齢者医療保険料の値上げにある。高齢者の年金が引き下げられ、生活物資やガソリンが値上がりしている状況で、保険料の値上げはするべきではないため反対。

賛成 森川 和英

本予算は、島根県後期高齢者医療連合会から示された、保険料や医療給付負担の見込み額により編成されたものである。制度の安定的な維持・運営のためにも必要な予算となっており賛成。

可決

議案第17号 | 令和4年度公共下水道事業予算

反対 多田 伸治

令和4年度も例年と同規模の3億9500万円の管渠整備費が計上され、それを支えるため、一般会計から2億4670万円が繰り入れられ、一般会計が圧迫されている。行政は「財政が厳しい」と言うが、無理な管渠整備を止めれば、子どもの医療費助成の拡充や街路灯新設も十分できる。汚水処理を進めるなら合併浄化槽への補助を10倍した方が効果的であるため反対。

賛成 石橋 孝義

令和4年度の管渠整備には、二宮町1工区、都野津中央2工区、蛭子北工区、嘉久志南工区など比較的人口密集地域であり、接続率の向上が見込める。今後とも処理場能力向上のために管渠整備をすべきと考え、本予算は必要と判断し賛成。

可決

議案第19号 | 令和4年度水道事業予算

反対 多田 伸治

2年前から県へ支払う受水費が5000万円下げられ、同程度の純利益が出ている。将来的な施設整備の財源を確保する必要があるが、日本共産党で行った住民アンケートには「高過ぎる水道料金を下げてほしい」との声が寄せられている。純利益全てとは言わないが、行政として市民に寄り添うため、少しでも水道料金を値下げすべきであり、予算案には反対。

賛成 藤間 義明

本予算は、他会計からの補助金、予定キャッシュフロー計算書、予定損益計算書、予定貸借対照表、予算実施計画明細書などを定めている。資本金収入及び支出のうち、支出について、配水管の敷設及び布設替え工事、支障移転工事などを行う予定としている。いずれも必要な予算と認め賛成。

可決

議会活性化特別委員会委員長最終報告

委員長 森脇 悦朗

【議員定数について】

議員のなり手不足の現状打破のためには、定数減といった手法ではなく議会の魅力化向上を目指す必要があり、定数減は志のある人の門戸を狭める結果となる。また議会の役割を補完・代替する案を市民に示す必要があるが、時間的余裕がないため、現行の16人と決定した。

【議員報酬について】

県内他市の状況、全国の同規模の自治体の状況などから総合的に判断し、平成24年4月の改定前の月額に戻すよう特別職報酬審議会の開催を求めることにした。

【市民参加について】

これまでの議会報告会を市民の意見を聴取する場と位置付け、その意見などを政策立案できるよう政策形成サイクルをルール化することにした。

【議会のネット配信について】

今回の3月議会の一般質問からYouTubeで配信し、今後、費用面・データ編集・個人情報の取り扱いなどを検討することにした。

【その他】

「議会モニター制度」「通年議会」「タブレット端末の導入」「資料のデジタル化」について、今後も引き続き費用面や事務局体制などの課題を検討することにした。

市議の一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。



※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見るができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

市のQ&A

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

Q. 学校のトイレへ無償の生理用品の常備配布を。

A. 衛生面や教職員の負担から、無償配布は考えていない。

Q. 【ジェンダー平等の推進】女子生徒の制服でのスラックス着用を認める柔軟な対応を。

A. 検討は進められているが、制服改定は保護者負担となるため、保護者との協議で進むと考える。

Q. 家庭状況に応じ、適切な支援につなげる包括的な支援センターや相談窓口の設置を。

A. スクールソーシャルワーカーや学級担任が、状況や相談から把握している。国設置の24時間ダイヤルがあり、設置予定はない。

Q. ヤングケアラーの実態調査をヤングケアラーに限定した実態調査は考えていない



植田 好雄

Q. 中国地方の国会議員・県議と一丸となり連携した取り組みを。

A. 広域的な取り組みに、協力・連携していく。

Q. 【JR減便と鉄道存続】鉄道事業法の届け出制を、許可制へ改正する取り組みは。

A. 丸山知事含め、23道県知事が緊急提言で見直しを求めている、協調して取り組む。



JR江津駅

Q

更年期世代が労働力の中心
多様な悩みを解決する環境を

A

24時間ごうつ健康相談ダイヤ
ルを設け、誰でも相談できる

Q

生理痛を我慢して勉強・部活に
支障がある児童・生徒たちのS
OSに気付ける体制づくりを。

A

担任・部活動顧問などが対応
をする。言い出せない場合も教
職員が声をかけをこころがける。

A.Q

フェムテック活用への考えは。
企業が女性特有の状態に合わ
せたアプリなどを開発・販売
している。今活用が期待され
る分野。DXを推進する中で
研究する。

フェムテックとは

Female(女性)とTechnolog
y(テクノロジー)をかけたあわせたもの。
女性が抱える健康の課題をテクノロジー
で解決できる商品やサービスのこと。

DXとは

デジタルトランスフォーメーションの略。
デジタル技術を用いることで、生活やビ
ジネスが変容していくこと。

【有機農業】

Q. 学校給食は健康教育。地産地
消の推進を。

A

令和2年度は豪雨・寒波など
の影響で野菜33%の地産地消
率だった。米は100%使用。

Q

オーガニック給食を求める
お母さんたちの声がある。取
り組みを。

A

学校給食での利用促進に取り
組んでおり、5品目の有機農産
物を利用して。利用品目や
量を高め、他自治体の先進事
例を参考にして、本市の現状に
合った取り組みを進める。



コドモライイわみのイベント



鍛治 恵巳子

Q

食育基本法の背景・目的は

A

社会の変化で生じた「食の安
全」の問題に対応する食育

Q

子どもが正しい食生活の知
識と習慣を備えるため、新学
習指導要領での食育の扱い
は。

A

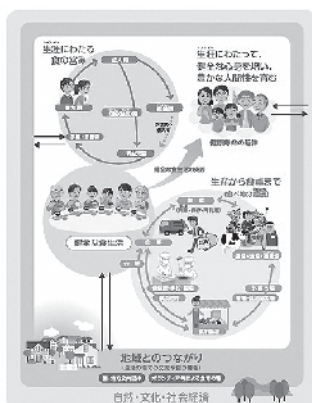
各教科および総合的な学習の
時間など、教科の特性に応じ
て適切に行い、家庭や地域と
連携して日常での実践を促
し、生涯を通じた健康・安全
で活力のある生活を送る基礎
を培うよう、配慮することと
されている。

Q

市内に2人配置された栄養
教諭の食に関する指導での
役割は。

A

児童生徒に対する個別の相談
指導、学級担任などと連携し
た食に関する指導、全体計画
策定などへの参画、児童生徒
の栄養状態などの把握、養護
教諭と連携した健康管理、献



出典：農林水産省発行の食育ガイドより

Q

学校給食費の公会計化で教
職員の徴収業務の軽減を。

A

教職員の業務負担の軽減など
多くのメリットはあるが、全
国的に進んでいない。業務シス
テム導入のコストが必要となる
ため、具体的な検討はしてい
ない。

立表の作成や衛生管理などを
担っている。



森川 和英

Q 子どもの医療費助成の「18歳まで無償」への拡充を

A 年間1800万円の財政負担が重く困難

Q 保険年金課としての今後の人口減少対策は。

A 若い世代が結婚・子育てしやすい環境づくりとして、乳幼児等医療費助成事業や児童入院助成事業で、経済的負担軽減を図る。令和4年度からは、現在の医療費助成の対象を15歳まで拡大する。

Q 令和3年度から、12歳までの医療費負担の月額上限を通院1000円・入院2000円までとなったが、本市の財政負担は。

A 12月までで560万円。

Q 日本共産党で実施した住民アンケートでは、370通の返信のうち「子どもの医療費を高校卒業まで無料に」との回答が54%だった。また、医療

費の無償化は、早期の病気発見・治療による重症化予防で、医療費の抑制につながる。医療費助成を「18歳まで無償」へ拡充させることを求める。



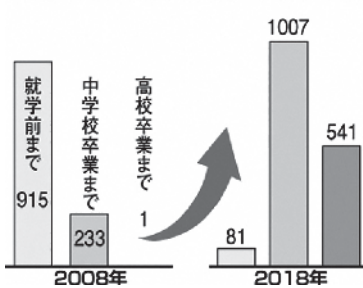
森川 佳英

A

費の無償化は、早期の病気発見・治療による重症化予防で、医療費の抑制につながる。医療費助成を「18歳まで無償」へ拡充させることを求める。

子どもの医療費助成を行う市区町村数の推移

(通院時の主な助成対象年齢。各年4月1日時点)



※厚生労働省発表数値より

Q 交通手段の確保のため、市内全域での乗合タクシーの導入を

A 導入には交通事業者や地域住民との協議や配慮が必要

Q 日本共産党で実施した住民アンケートでは、困り事として「交通不便」との回答が多

A 令和3年度と同様の運行。

Q 令和4年度策定の地域公共交通計画に、具体的な「充実」は織り込まれるか。

A 市民アンケートなどを参考に充実を図る。

Q 具体的なお話が全くない。計画策定への腹案はないのか。

A 地域に応じた交通体系の構築・交通弱者対策を講じる。

Q 計画へ市内全域での乗合タクシー導入を盛り込み、市民の要望に応えることを求める。

A 導入により、既存の路線バス、

タクシーやそれを利用する市民への影響が考えられる。



多田 伸治

Q

タクシーやそれを利用する市民への影響が考えられる。

A

交通事業者が潤う導入方法を、交通事業者にも考えてもらうよう、行政から提案できないか。



生活交通バス

Q 汀線監視と海岸保全への認識は

A 被害が発生すれば直ちに対策の実施を要望する



石橋 孝義

Q 江の川以東・以西の現状について認識は

A 全体的に海岸浸食傾向にあると認識はしている。

Q 第二新川河口から真島西海岸の認識は

A 抜本的対策が必要。一部潜堤や着浜工事の実施状況を注視する。



塩田海岸



和木海岸

Q 【養豚場の排水】

大田市温泉津町に養豚場建設計画がある。その排水が波積北川・都治川水系へ流入する可能性は

A 事業者は福光川水系へ排水すると回答しているが、引き続き監視は必要。

Q 【松枯れ対策】

海岸防風林や市道周辺、県道、住宅隣接地の松枯れへの危険性の認識は

A 毎年新たな松枯れが発生している状況である。

Q 対策は

A 枯れた松を伐倒し、燻蒸処理を計画的に実施する。

Q 各地域コミュニティの活動評価は

A 計画に基づいた活動などを着実に進めている



森脇 悦朗

Q 10年計画終了地域の活動経費の支援は

A 1000万円を活用しきれない地域は3年間延長する。終了した地域は年間50万円を限度に地域づくり計画に則り交付する。

Q 買い物弱者支援のためには核となる店舗が必要。仕組みづくりについての見解は

A 令和4年度桜江地区では、地域主体の移動販売車の実証実験を行う予定。一定の効果があれば他地域への横展開も検討したい。「買い物拠点」の整備も安心な暮らしを確保するための一つの手法である。地域ニーズや資源が異なることから地域コミュニティと連携して支援をしたい。

Q 小さな拠点づくりのための核となる施設の改修や、加工場整備に過疎債の活用を

A 過疎計画に盛り込めば活用は可能。ただ、地域コミュニティが整備し、市が補助する場合は、公共性などの観点から合理的な範囲の金額を補助していくことに留意する必要がある。



あと さと
跡市地域の憩いの場でもある「阿刀の郷」



大貫堤防用地立会の様子

治水事業の今後については

治水とまちづくり連携計画を
令和4年度に策定し対応する

Q. 治水対策における人員不足は。

A. 令和4年度に建設部門の組織を改編し、新たに設置する事業推進課の中に「江の川治水対策係」を設置する。

副次拠点・桜江支所の機能の充実を

不測の事態も踏まえ組織維持に必要な職員適正数の確保を図る

Q. 農地買収による補償と代替地は。

A. 補償について現在対象となる方と生産・営業形態などを含め、どのような補償が行えるか協議を行っている。代替地については、必要面積や桑に適した圃場など、農地の利活用など候補地の検討を進めている。

Q. 内水排除対策の現状は。

A. 県が令和5年度の出水期までに、排水ポンプ車を桜江地域に配備する予定。また、渡津・松川・川越地区の消防団に対し、内水対策用の排水ポンプ5台配備する予定。

副次拠点・桜江支所の機能の充実を

不測の事態も踏まえ組織維持に必要な職員適正数の確保を図る

Q. コロナ禍で本庁舎の閉庁時、桜江支所の果たした役割は。

A. 本庁から急遽、職員を派遣し、窓口業務や高齢者対応を大きな混乱もなく、たくさんの方の来庁者に対し滞りなく対応できた。

【学校教室環境の整備】

Q. 小中学校に大きな学習机の配置を。

A. ノートや教科書と共にタブレット端末を机に置くので狭い。令和4年度以降から順次、現在より縦横5cm大きな机に更新する。

Q. 教室のテレビモニターの大型化を。

A. 後方の席から画面が見づらいで、令和4年度中に60インチ以上の大型モニターに更新予定。



副次拠点・桜江支所

【文化財の保存・保護・活用】

Q. 本市には「江津市の文化財」「桜江町の文化財」の2冊の解説冊子がある。いずれも合併前の編集。一冊に再編集する予定は。

A. 市文化財行政課題として再編集の必要性を認識。冊子の編集・作成を早期に実現するよう努める。

Q. 公共工事に伴う文化財の移設状況は。

A. 太田工区には貴重な石塔・石碑がある。地元と協議し保存と同時に啓発活動を推進する。



田中 直文

Q まん延防止解除後の市民生活や地域経済への支援を

A 本市の状況に見合った支援をしていきたい



山根 兼三郎

A.Q. コロナ禍で市内での影響は。

小中学校での臨時休業の間、児童生徒にはタブレット端末を活用した遠隔授業や、タブレットドリルの活用、学習プリントの配布などで対応した。また、タブレット端末や電話により児童生徒の健康状態を確認。オミクロン株による感染が県内に急拡大し始めた時期から飲食店に影響が始め、本市で感染が発表された1月8日以降、夜の飲食店の利用は著しく減少。

【有福温泉】

A.Q. 再生に向けた今後の施策は。

これまで以上に有福温泉の知名度を高めつつ、その価値も落とさない努力が重要。ハード面では、エリアWi-Fiの整備、温泉地の魅力創出のための空

【江津東地域】

A.Q. 江津東地域の拠点化が進んでいないのでは。

江津東地域では人口減少や少子化が進み、空き家も多くなっている。現在建設中の山陰道福光浅利道路の開通を見据える中で、江津市立地適正化計画に掲げている当地区の数値目標の達成に向け取り組んでいく。



有 福

ARIFUKU
SHIMANE
JAPAN

新有福温泉口ゴ

き家・空き店舗の利活用、空き地の観光目的としての活用、景観整備など様々な課題がある。令和4年度以降に国の事業を活用し、具体化していく予定。

ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議を採択しました

ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議

去る2月24日、ロシアはウクライナへの武力攻撃、侵略を開始した。

今回の行動は、明らかにウクライナの主権、領土の一体性を侵害する国際法の深刻な違反であり、国連憲章に反するものである。この事態は欧州にとどまらず、日本が位置するアジアを含む、法の支配に基づく国際秩序に対する挑戦であり、その根幹を揺るがしかねない暴挙である。このようなロシア・プーチン大統領の力による侵略行為は断じて認められず、強く非難する。

ロシアは国際社会の強い自製の求めにかかわらず、侵略行為を継続しており、首都キエフにまで侵攻し、市民への被害の拡大も深く憂慮される。また、核兵器の保有を誇示する姿勢は断じて許すことができない。

本市は日露戦争の折に、日本海海戦で傷ついたバルチック艦隊のイルティッシュ号の乗組員を、当時の住民が危険を顧みず救助したという歴史があり、友好と戦争根絶への想いを受け継いできた。また、「非核平和都市宣言」を行い日本国憲法が掲げる平和主義のもと、国際社会の恒久平和を世界に訴えている。それにもかかわらずロシアがその思いを踏みにじる暴挙に及んだことは遺憾の極みである。

本議会はロシアに対し、即時に攻撃を停止し、部隊を撤収するよう強く求め、現地在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、世界平和の実現のため、日本政府および全世界が一体となって全力を挙げ取り組むよう強く訴える。

以上、決議する。

令和4年3月8日 島根県江津市議会

江津工業高校生徒 「地域課題を共に考える」



本会議の傍聴

3月7日、江津工業高校の生徒が江津市庁舎見学に訪れました。「地域課題を共に考える」をテーマに議会本会議一般質問を傍聴していただきました。
ヤングケアラーの現状・ジェンダー平等・鉄道の存続に向けた対応など、生徒自身に身近なテーマもあり、熱心に聞き入っていました。

介護職・保育士・放課後児童クラブ職員の 処遇改善についての意見書

介護職・保育士・放課後児童クラブ職員の処遇改善のためには国の責任によるしっかりとした財政措置が必要なため、下記の意見書を提出しました。

1. 処遇改善での1人あたりの賃金引き上げ額を大幅に増額すること。
2. 施設の裁量・条件に拠らず、労働者に処遇改善が届くよう制度を改めること。
3. 介護職・放課後児童クラブ職員の処遇改善のための国庫負担を、10月以降も継続して計上すること。
4. 処遇改善を介護の現場で働く労働者すべて、また、同じ保育の現場で働く労働者すべてを対象とし、それに見合う予算を計上すること。
5. すべての介護事業所で働く労働者が処遇改善の対象となるよう、制度設計をみなおすこと。
6. 保育現場においては、人員配置が設定より多い施設でも、そうでない施設と同様の処遇改善を図ることができるよう配分すること。
7. 公立・私立の区別なく、保育の現場で働く労働者が等しく処遇改善されるよう改めること。

次回6月定例会

請願・陳情締切／6月3日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7	8	9	10	11
	会派代表者会議 9:30～	会派代表者会議 全員協議会 9:30～			会派代表者会議 15:00～	
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 10:00～		議員連絡会 9:30～		
19	20	21	22	23	24	25
	本会議 (一般質問) 10:00～	本会議 (一般質問) 10:00～	委員会 (総務民生) 9:30～	委員会 (建設経済) 9:30～	委員会 (予算決算) 9:30～	
26	27	28	29	30	7/1	2
	情報交換会 9:30～		本会議 14:00～			

※開始時間等は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴を待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議場へお越しください。

議会へ参加しよう
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 永岡 静馬

■市議会だより編集特別委員会

委員長 鍛冶 恵巳子
副委員長 坂手 洋介
委員 植田 好雄
委員 多田 伸治
委員 山根 兼三郎
委員 森脇 悦朗
委員 河野 正行

市議会だよりは
こちらから



(坂手 洋介)

新年度が始まりました。気持ちも新たにスタートされた方も多いのではないのでしょうか。昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響で多くのイベントが中止・縮小となってしまいました。
しかし、このような状況の中でも、感染対策をし、工夫を凝らしてイベントを開催されている様子を拝見し、情熱を持って活動することの素晴らしさを改めて教えていただきました。少しでも早く収束し、普段通りの日常生活に戻って、さらに元氣な江津市になって欲しいと願います。
今回号で現在の編集委員も担当終了となり、次号からは新編集委員による議会だよりが発行されます。
今後とも、皆様の意見を反映して、市議会議員の活動を理解していただける、読みやすい紙面になるよう努力してまいります。

編集後記